

Tour of the Alps

Stage 2 / Mezzolombardo – Vipiteno 178 km

ナホム・ゼライが第 2 追走集団で 19 位フィニッシュ



開催日：4月22日

コース：Stage 2 / Mezzolombardo – Vipiteno (178 km)

参加チーム：16チーム(WT 8、PT 5、CT 2、NT 1)

出走選手数：95人

JCL TEAM UKYOメンバー：アレッサンドロ・ファンチェル、マルク・カベド、石橋学、ニコロ・ガリッポ、~~中林~~海、シモーネ・ラッカーニ、ナホム・ゼライ

JCL TEAM UKYO監督：マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト：<https://www.tourofthealps.eu/it>

JCL TEAMUKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>

Photo：<https://x.gd/KtZFF>



非常にハードだった初日に続き、第2ステージも簡単ではなかった。メッツォロンバルドからヴィピテーノまでの178kmには多数の登りが含まれており、KOMとしてカウントされたのは2つだけだったが、獲得標高は3750mにも及んだ。

序盤の20kmは8km地点のサロルノ中間スプリントを含む平坦パート。20km地点からは最初のKOM、モンテ・サン・ピエトロ(19.1km・平均勾配6.1%)が登場。山頂を越えた後も、サン・ヴァレンティーノ・ディ・ソプラとカステルロットの登りが続き、どちらもKOMには含まれないが非常に厳しい登坂だった。

100km地点からは、フォルテツァの2つ目の中間スプリントを経由する長い緩斜面が続き、最後の周回コースへと入っていく。周回は2周で、テレス・ディ・ソプラ(4.2km・7%)の登りが含まれており、1回目のみKOMが設定されていた。

山頂を越えた後は10kmでフィニッシュへ。うち半分はテクニカルな下り。

JCL TEAM UKYOの戦略は、逃げに乗ること、そして総合上位を狙うシモーネ・ラッカーニを守り良い位置をキープすることだった。



スタート直後、逃げを決めたのはクーン・ボウマン(ジェイコ・アルウラ)、ルーカス・マイラー(チーム・フォアアールベルク)、フラン・ミホルイエヴィッチ(バーレーン・ヴィクトリアス)の 3名。
リーダージャージを持つジュリオ・チッコーネ擁するリドル・トレックはこの逃げを容認し、ステージ前半は後方で様子を見た。

JCL TEAM UKYOの選手たちは集団内で状況を見ながら走行。

サン・ヴァレンティーノ・ディ・ソプラの登りで苦しんだマイラーは、カステルロットの急勾配で遅れ、先頭は 2名に。集団との距離はどんどん縮まっていった。

残り65kmで、トンネル区間を通過中のメイン集団内で大きな落車が発生。幸いにも JCL TEAM UKYOの選手は巻き込まれなかった。

残り50kmで、集団が活性化し、何人かの選手が追走を試みた。ニコロ・ガリッボ(JCL TEAM UKYO)もアタックをかけたが、他の数名の選手とともに集団に吸収された。

この動きにより、逃げていたボウマンとミホルイエヴィッチも吸収された。

その数km後、アレッシンドロ・ファンチェル(JCL TEAM UKYO)がアタック。誰も追わず、しばらく単独先頭に立ったが、40km以上の厳しいコースを独走するのは不可能と判断し、数分後には集団を待った。



最初の周回に入ると、デカトロン AG2Rラ・モンディアルがペースアップ。

小集団が集団から抜け出し、フェリックス・ガルとポール・セイシャス(デカトロン AG2R)、ジュリオ・チッコーネとファン・ペドロ・ロペス(リドル・トレック)、ロマン・バルデとマックス・プール(チーム・ピクニック PostNL)、ジェイ・ヒンドリー(レッドブル＝ボーラ＝ハンスグローエ)、ジェファーソン・アレクサンダー・セペダ(EFエデュケーション＝イージーポスト)、ダミアノ・カルーゾ(バーレーン・ヴィクトリアス)、ダヴィデ・ピガンゾーリ(ポルティ・ビジットマルタ)、デレク・ジー(イスラエル・プレミアアテック)、ルカ・コヴィリ(VFグループ・バルディアーニ CSFファイザネ)が含まれた。

下り区間で大きな力を見せた数名の選手、ナホム・ゼライ(JCL TEAM UKYO)とパンチャータイプのニコロ・ガリッボもこの先頭集団に復帰。

2周目では、ジェフリー・ブシャール(デカトロン AG2R)がアタックを試みたが、しばらくして吸収された。

イスラエル・プレミアテックが集団を牽引する中、テレス・ディ・ソプラの登りでマイケル・ストーラー(チューダー・プロサイクリング)がアタック。これに反応できたのは、チッコーネ、ガル、セイシャスの 3人だけ。

その後さらにアタックをかけたストーラーが、登りの頂上手前で単独先頭に。

バルデ、ヒンドリー、セペダらが第 1 追走グループに合流したが、オーストラリア人のストーラーはテクニカルな下りを駆け抜け、最終的に 41 秒の差をつけて優勝。

第2位争いのスプリントではセイシャスが勝利、3位はバルデ。

JCL TEAM UKYOのナホム・ゼライは第 2 追走グループに残り、最終的に 59 秒遅れの 19 位でフィニッシュ。

ラッカーニはこの日調子が上がらず、現在 JCL TEAM UKYOで総合最上位にいるのはニコロ・ガリッポ。現在総合25位、首位のストーラーからは 3 分29 秒差となっている。



STAGE 2 TOUR OF THE ALPS RANKING:

1. Michael Storer (Tudor Pro Cycling) in 5h00'02"
2. Paul Seixas (Decathlon AG2R La Mondiale Team) +41"
3. Romain Bardet (Team Picnic PostNL) s.t.
19. Nahom Zeray (JCL Team Ukyo) + 59"

STAGE 2 TOUR OF THE ALPS GC:

1. Michael Storer (Tudor Pro Cycling) in 8h42'02"
2. Paul Seixas (Decathlon AG2R La Mondiale Team) +41"
3. Giulio Ciccone (Lidl-Trek) s.t.
25. Nicolò Garibbo (JCL Team Ukyo) + 3'29"

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING 株式会社
田村 遼 (広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪 (広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

